



二日市中学校 平和集会  平和への願いを語り継ぐ

8月6日(木)、二日市中学校で平和集会がありました。今年のテーマは、大刀洗空襲で児童31人が爆死した「頓田の森」。原爆が投下され、そして終戦した昭和20年の3月に起こった出来事です。

この集会は毎年8月6日に開催されており、例年は文化会館で観客を前に平和劇の上演などを行っています。しかし今年は感染症拡大防止のため規模を縮小し、校内で開催。放送室からのテレビ放送や、各教室での紙芝居の読み聞かせ、平和への願いを書いた折り紙で折り鶴を折るなど、生徒が出し合ったアイデアを生かして平和学習をしました。

各クラスでは「まず知ることが大事」「風化させずに語り継ぎたい」「身近にある差別をなくしたい」などの意見がありました。

実行委員長を務めた藤原 紘希さん(3年)は「今の状況下でできることをみんなで考え、何度もしリハールを重ねました。二日市中学校から平和について発信することを続けていきたいです」と話しました。

